

合格通信

今
月
の
名
言

最後の一步というのが実はそれまでの千万歩よりも幾層倍むつかしいという場合が何事によらずしばしばある。

寺田寅彦
(自由画像)

これは、塾生のみなさんと、特進スクールを訪れてくれた、小中高校生の皆さんとお問い合わせいただいたお父さん、お母さんに向けて、勉強法や受験に役立つ話題をお届けする情報誌です。



名曲喫茶 渋谷「らんぶる」篇

渋谷には「らんぶる」「ライオン」「カノン」という3つの名曲喫茶がありました。「ライオン」は今でもあります。「らんぶる」は1984年頃縮小移転し、「カノン」は道玄坂を登って右側の雑居ビルの3階だかにありましたが、1986年頃閉店しました。

「らんぶる」というのはチェーン店なのかわかりませんが、僕が知っている限りでも、新宿に2店、銀座、高田馬場、亀戸にありました。渋谷らんぶるは八チ公の道路一本はさんで目の前にあり、フロア面積は広くはなかったのですが、地下1階から地上3階までありました。2階、3階の隅を陣取ると何時間でもねばれます。よく本を読んだり、寝たりしてました。ただし夏場は蚊、ゴキブリと格闘せねばなりません。

あるとき、少し前に座っていたオヤジさんがウェイトレスに「ベートーヴェンの交響曲第7番かけてくれる？」とリクエスト。この曲は「舞踏の聖化」といわれるように全編がリズムカルな表情をもち、2楽章が有名曲でフィナーレが最高に盛り上がる曲です。しばらくしてこの曲がかかり、このオヤジさん最初は足でリズムとったりして曲に没入していましたが、やがてフィナーレにさしかかり最高潮に盛り上がりを見せると**オヤジさん、感極まってスプーン持って指揮始めちゃいました。**

ここのママさんは当時50歳前半ぐらいでしたが、時はバブルの真只中、この喫茶店も地上げに遭い、ママさんには大金が入ったという、うわさを聞きましたが、跡地には109part2というビルができ、らんぶるはこの地下に入りましたが、昔の面影もなく、もはや名曲喫茶とは言えないものとなり3度ほど通いましたが、その後拠点を「ライオン」に移しました。

